

埼玉トヨペット Green Brave



2019 RACE REPORT

【#52 埼玉トヨペット GB マーク X MC】

2019年9月7日(土)～9月8日(日)

AUTOBACS SUPER GT Round6

AUTOPOLIS GT300km RACE

オートポリス(大分県日田市)

予選 2位を獲得するも雨を味方につけられず 24位

予選日の天候はくもり。朝一で行われた練習走行では脇阪選手が1分45秒351の2番手タイムをマーク。吉田選手もほぼ同タイムを記録しており、49kgのウエイトを積んでいても、マークX MCのスピードに衰えはない。Q1を担当したのは脇阪選手。脇阪選手は8分経過時点でコースに入り、2回目のアタックで1分46秒001をマーク。12位に入り、Q1を突破した。Q2を担当した吉田選手はやや時間を置いてコースに入り、2周目からアタックを行う。吉田選手は3周目に午前中のタイムを1秒近く更新する1分44秒520をマーク。この時点で2位につける。吉田選手はアタックを続行し、2戦連続のポールポジションを狙うも、タイムを短縮することができず、2位で予選を終えた。

決勝日の天候は晴。午後には雨予報が出ており、降り出すタイミングを探りながらのレースとなった。脇阪選手は順当なスタートをきり1コーナーへ。後続から攻め立てられるも2位をキープして1周目を終える。脇阪選手のペースはトップの#2586よりも早い、前に出られるほどのアドバンテージはない。2周目にGT500の車両がコースアウトし、セーフティカー(SC)が導入される。6周目にSC解除。脇阪選手は2位をキープするが、3位以下の集団が追いつき、10周目には8台の集団となる。#2586を抜きあげていた脇阪選手だが、12周目の1コーナー進入でインを奪いトップに。しかし、脇阪選手のペースは伸びず、17周目に3位、22周目に5位へ。この頃になると1コーナーを中心に雨も降り出し、脇阪選手は23周目にピットイン。吉田選手に交代、タイヤ交換・給油をしてピットアウト。24周目終了時点での吉田選手の順位は24位。29周目、今度は最終コーナー側で雨が強く降り出し、32周目にGT300の下位の車両がコースアウト。2回目のSCが導入される。吉田選手の順位は18位。無線ではSC解除後のタイヤ交換についての意見が飛び交うが、チームはステイを指示。37周目からSC解除。吉田選手はドライタイヤのままで走行を続けるが、39周目の1コーナー立ち上がりで単独スピン。アウト側のサンドトラップにはまってしまう。何とかして脱出を試みる吉田選手だが、後輪が空転しており自力での脱出は困難な状況。しかし、ほぼ同じタイミングで他のGT300車両もコースアウトしており、3回目のSCが導入される。吉田選手が乗ったマークX MCはけん引され、コースに復帰。隊列に加わることを許されるが、順位は25位(最後尾)。SCは44周目から解除され、吉田選手は45周目にピットイン。レインタイヤに交換し、ピットアウトする。上位とは大差がついており、入賞は難しい状況だが、吉田選手はタイヤの評価を行いながら走行。55周目には3回目のピットインを行い、再度ドライタイヤで走行するなど、次戦を見据えた走行プログラムを実施。24位でチェッカーを受けた。

決勝結果(GT300)

#52 埼玉トヨペット GB マーク X MC

(脇阪薫一/吉田広樹)

決勝: 24位(58周、2時間20分23秒272)

予選: 2位(Q2:1分44秒520)

GT300 決勝結果

1位: SYNTIUM LMcoorsa RC F GT3(レクサス RC F GT3)	62周
2位: McLaren 720S(マクラーレン 720S)	62周
3位: マネバランボルギーニ GT3(ランボルギーニ ウラカン GT3)	62周
4位: グッドスマイル初音ミク AMG(メルセデス AMG GT3)	62周
5位: K-tunes RC F GT3(レクサス RC F GT3)	62周
24位: 埼玉トヨペット Green Brave マーク X MC(トヨタ マーク X MC)	58周

天候: 曇り/雨、路面: ドライ/ウエット ※トップ5まで(出走29台)



DRIVERS VOICE

Q2で吉田選手が頑張ってくれ、2番手といういい位置を獲得しました。路面温度が上がる中、我々の持っている材料でうまくまとめてくれました。決勝ではスタート直後に接触とかがちょこちょこことありながら、ポジションキープという流れでいきました。一時はトップに立ったのですが、我々が懸念している材料もどんどんひどくなり、24周目ぐらいまでは耐えたのですが、他よりも早めにピットに入るような状況になってしまいました。天気に翻弄されたとしか言いようがありません。ただ今回、強いレースをしないと勝てないというのがわかりました。

(脇阪薫一選手)

予選時、自分の中では大きなミスはしていないですし、アタックをまとめることができました。前回と違ってウエイトも積んでいる中で、こういうポジションで走れたのはチーム全体でレベルアップしている結果かなと思います。決勝では天候を含め、自分のミスもあって24位という結果になってしまいました。今日のポイントは天気。その場の状況でベストな選択をしたと思うのですが、そこで自分に代わり、予選で使っていなかった硬いタイヤでスタートしました。そうしたらどんどん雨が降ってきて、難しいコンディションの中、自分のミスで台無しにしてしまいました。

(吉田広樹選手)



チームランキング GT300

1位	55	ARTA	58.5
2位	88	JLOC	54.5
3位	56	KONDO RACING	52
4位	96	K-tunes Racing	50
5位	11	GAINER	46
10位	52	埼玉トヨペット Green Brave	35.5
トップ5まで(全29台中)			



埼玉トヨペット Green Brave PARTNERS 協賛各社

Total Advertising Agency
Assist one

株式会社アシスト・ワン

ALPINE
Driving Mobile Media Innovation

アルパインマーケティング株式会社

Coolens
OPTICALS

株式会社エヌ・ティ・コーポレーション

ThreeBond

崎群スリーボンド株式会社

トヨタ部品埼玉共販

トヨタ部品埼玉共販株式会社

UNDER ARMOUR

株式会社ドーム

株式会社 **ハッピーライフ彩生**

株式会社ハッピーライフ彩生

※50音順